

## プラント状況確認結果(平成25年9月17日～9月24日)

平成25年 9月 24日  
福島県原子力安全対策課

○ 平成25年9月17日～9月24日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

8月19日に発生した発電所敷地内H4エリアタンクからの汚染水漏えい事象の経過の詳細と現況については、[こちら](#)をご参照ください。

また、7月22日に東京電力から福島第一原子力発電所タービン建屋東側における放射性物質に汚染された地下水が海(発電所港湾内)に拡散(漏えい)していると考えられるとの報告を受けた事象について、県の対応は[こちら](#)をご参照ください。

### (1) プラント状況(9月24日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.4	5.2	5.2	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<a href="#">32.4</a>	<a href="#">43.0</a>	<a href="#">42.7</a>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	1.92×10 <sup>-3</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.02	0.05	0.09	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	26.5	24.3	23.6	32

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(9月24日午前10時)

最小 2.8(MP-1)～最大 5.8(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(9月23日採取分)

最小 検出限界未満(6号機取水口前)～最大 78(1号機スクリーン(シルトフェンス外側)) Bq/ℓ

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(9月23日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は約1.4 Bq/ℓ

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(9月23日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(9月23日採取分)

最小 検出限界未満(4号機) ~ 最大 0.34(2号機) Bq/cm<sup>3</sup> ※検出限界値は約0.02 Bq/cm<sup>3</sup>

【参考事項】

- 9月18日 8時00分頃、3号機原子炉建屋5階中央部から湯気らしきものが漂っているのがカメラにて確認された。プラント状況及びモニタリングポスト指示値に有意な変動はない。その後、10時00分頃に湯気らしきものは確認されなかった。
- 9月18日 12時18分頃、1,2号機排気筒において耐震安全性評価のため現地調査を行っていたところ、排気筒を支える鉄塔の一部に破断が確認された。現在、当該排気筒は使用しておらず、モニタリングポスト指示値等に有意な変動はない。その後、半径120m区域内を作業禁止区域とし、簡易的な耐震安全性評価を行い倒壊する恐れがないことが確認されたため、9月19日10時14分に作業禁止区域を解除。
- 9月20日 2時25分頃に発生した発電所周辺町村「震度5弱(檜葉町)」の地震において、パトロールを行った結果、6時58分頃にプラント設備の異常、モニタリングポスト指示値の有意な変動がないことが確認された。また、全ての汚染水タンクについても漏えいがないことを目視点検により確認された。

(問い合わせ 024-521-1917)